

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] pure solid早期肺癌に対するSynapse Vincent 3D解析によるGGOの検出と病理学的所見および予後との関連性

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 土田浩之 (呼吸器外科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：実施承認後～2023年03月末日

目的：

早期肺癌のCT画像において極僅かでもスリガラス影(Ground Glass Opacity ; GGO)を伴うものはGGOを全く伴わないもの (pure solid) と比較し予後が良いとされる。しかしCT全スライスでpure solidと判断されるものであっても病理学的に予後良好とされるlepidic成分を伴うものは一定の割合で存在し、pure solidの中にも予後良好な群が存在する可能性がある。Synapse Vincent 3D解析を行うことでpure solidの症例でも僅かなGGOを検出できれば、その病理学的所見や予後の層別化に寄与する可能性がある。

当院で完全切除をしたpure solid, cStageIA NSCLCに対し今回後ろ向き研究で情報を収集する。

方法：カルテ情報を用いた単施設・後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2010年1月～2021年3月の間に当院で完全切除をしたpure solid, cStageIA NSCLCの方 370名

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：以下の臨床情報を診療録から取得します。

- ①臨床所見 (性別、年齢、喫煙歴、画像所見、病理所見、臨床病期、病理病期)
- ②血液所見 (腫瘍マーカー)
- ③治療 (術式)
- ④治療成績 (全生存期間、無再発生存期間)

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

(様式 17)

研究番号	第 22-64
------	---------

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院  
呼吸器外科 土田浩之  
電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971